



様式第6号(第6条関係)

平成27年 11月 13日

安曇野市議会議長
濱 昭次 様

会 派 名
代表者氏名 荻原勝昭
経理責任者氏名 荻原勝昭



平成27年度(4月~10月)政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成27年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位:円)

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	52,500	@52,500×1人
合 計	52,500	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
資料購入費	52,500	54,518 円のうち
合 計	52,500	

2 収入支出差引残高 0 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況(別紙)を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本の政治、経済、財政、文化の情報収集と調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	市政の政策判断、提言のため	
活動の概要	日時	平成 27 年 4 月 1 日 () から 平成 27 年 10 月 15 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	新聞「赤旗」、雑誌「経済」「そして、日本の富は略奪される」を購入し調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	アベノミクス、消費税増税、戦争する国づくり、新自由主義政策、TPP 等々市民生活に影響のある事項については一般質問、討論等で取り上げた。また議員活動報告会や市民に伝え、安保法制廃止と TPP 参加反対を呼びかけている。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本国憲法と秘密保護法、集団的自衛権の行使、新安保法制を学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	自由と平和・民主主義を守り、戦争をする国にさせないため	
活動の概要	日時	平成 27 年 4 月 8 日 () から 平成 27 年 8 月 23 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	書籍「亡国の集団的自衛権」「崖っぷち国家日本の決断」「平和のための戦争論」「誰も語らなかった日米核密約の正体」「国家の暴走」「憲法改正の覚悟はあるか」「新安保法制は日本をどこへ導くか」を購入し、調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	憲法に定める平和主義・基本的人権・立憲主義の観点から、国の政治、市の政治のあり方について、一般質問・議員活動報告会・市民集会等々で発言しに活かした。市民の皆さんに国民主権・住民主権であることを自覚し、政治判断は憲法に基準を置かなくてはならないことをしっかりと情報発信していく必要性を痛感した。

別紙

政務活動実施状況

活動名	明治維新以降の戦前史・敗戦後の戦後史について調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	現在を歴史の中で正しく認識するため	
	日時	平成 27 年 4 月 8 日 から 平成 27 年 8 月 23 日 まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「今語らねばならない戦前史の真相」「日本の真相」「日米開戦の正体」「日本はなぜ基地と原発を止められないのか」を購入し、調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	明治維新により近代国家を建設してきた日本は何故太平洋戦争に突入していったのか、何故国民は防ぐことができなかったか。戦後、日本は GHQ 占領下、マッカーサー統治下で憲法を定め立憲主義・国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の下に民主化を進めた。講和条約締結後、経済成長を実現し、戦後復興を成し遂げてきた。ここ 2 年間安倍政権によって特定秘密保護法・国家安全保障会議設置法・国連憲章第 51 条で認められた権利概念である集団的自衛権を行使するため。憲法第 9 条に違反する海外での武力行使を可能とする新安保関連法を強行可決した。安倍政権は憲法に違反する立憲主義の政治原則を踏みにじり、政府による解釈改憲を詭弁でごまかして行っている。憲法は、平和は、基本的人権は戦後最大の危機にあることを知らせなければ主権者の生活は守れない状況にある。

別紙

動実施状況

活動名	人間はどう生きるべきか。政治家・文化人・芸術家の生き方、あり方、業績の調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	人間存在を根本的に捉えるため	
日時	平成 27 年 4 月 8 日 () から 平成 27 年 8 月 23 日 () まで 時 分から 時 分まで	
研修先・主催者等		
報告内容・実施したこと。	「人類哲学序説」「田中角栄」「小説佐久間象山」「中山晋平伝」を購入し、調査研究した。	
まとめ(感想・市政に活かせること等)	<p>哲学とは「人間はどう生きるべきか」を歴史の中で問うことである。政治家は何のために政治をやるのか。どのような世の中をつくりたいか。人々を幸せにする政策を如何に実行するか。議員立法を最も実現した天才政治家田中角栄。幕末最大の知識人、思想家・教育者佐久間象山はアヘン戦争で清国がイギリスに敗れた情報を収集し、清国の二の舞にならないように警告し、幕末に日本の向かうべき方向を示し、人材を育てた。</p> <p>中山晋平はあれもこれも中山の曲と親しみのある信州出身の作曲家である。優れた歌は、平和な時代にあってこそ生まれる。そのような歌は、個人の自由が尊重される民主主義の中で、きっと叙情と雄大なロマンチズムに溢れた国民皆唱となるであろう。との著者の言葉に注目した。</p>	

別紙

政務活動実施状況

活動名	地方自治、地方自治体、地方自治法の調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	地方自治を法的に認識し、政治活動に生かすため	
	日時	平成27年4月8日()から 平成27年8月23日()まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「反骨の市町村」「変革期の地方自治法」「片山善博自治体自立熟」を購入し、調査研究した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	地方自治を担う市町村自治体が国の言うままでなく、独自の取り組みをしたことによる成功例を見る。地方自治法は毎年くらい改定されている。市民目線できちっと見直していかなければいけない。

別紙

政務活動実施状況

活動名	観光立国の進め方の調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	観光ビジョン構築のため	
	日時	平成27年4月8日()から 平成27年8月23日()まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「新・観光立国論」を購入し、調査研究した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	観光立国の取り組みはそれぞれの地域が、観光資源として何を発信したいかにある。市も観光というがここにしかない個性的なものを精査して、全国に向けて発信するようであれば、人は来ない。観光消費額も伸びない。観光と農業で成功しなければ地方再生はないと私は思う。